

# 検証評価調書【白鳩学園】

調査日：令和2年 1月27日

施設名：岐阜県立白鳩学園

委員名：川合部会長・篠原委員・安部委員

## 共通評価基準（10項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

### 3 事業計画の策定

(2) 事業計画が適切に策定されている。

② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。

委員からの意見：

- 中長期、短期計画について子供や保護者に関係する事項を検討する必要がある。
- 事業計画に関する保護者への開示の必要性を検討していただきたい。

施設の対応等：

- 中長期計画は、指定管理更新時に作成。短期計画については、毎年度事業計画を策定し理事会等にて審議いただいている。施設整備については、県の都道府県計画とリンクし進める予定（本年度については、再整備に関しての法人としての提言を策定済み）
- 情報の開示については、保護者からの相談があった場合には説明できるようになっている。

## Ⅱ 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

② 13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。

委員からの意見：

- 事業団自体の経営についての説明不足がある。
- 施設長のリーダーシップを発揮できる体制に期待したい。

施設の対応等：

- 事業団の経営状態の説明が不足しているため、引き続き状況説明が必要。施設においては、事業報告及び収支の状況を個別に説明し理解を求めよう働きかけを行う。
- 事業ごとに予算が、策定されているため、固定経費を除けば柔軟に予算要求できる仕組みである。委員の指摘どおり施設長の独自色が薄いことも現実である。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。

委員からの意見：

○人材確保のあり方について取り組みに期待したい。

施設の対応等：

○本年度の取り組みとしては、新聞への折り込み求人広告を2回行った。これをきっかけに問い合わせが数件と実際に1名雇用に結びついた。次年度も予算要求を行っており、時季を見計らって求人広告を実施する予定。また、恵那の広報誌のお知らせ欄を利用し求人案内を行った。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

③ 19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。

委員からの意見：

○研修機会の創出について専門分野以外の研修についても大切にしていきたい。

施設の対応等：

○積極的に職員を研修派遣することができた。(来年度は15%増の予算要求を行った)委員が期待する他分野への研修機会の創出は現時点ではできていない。(近年の職員の入れ替わりへの対応として基礎的研修から専門的な研修への派遣が当面の間必要であるため)

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

① 20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。

委員からの意見：

○マニュアル整備でよいのではないか

施設の対応等：

○年間を通し実習生を受け入れを行っている。(各学校の方針に基づき実施)  
○施設のおける項目別業務マニュアルを利用し取り組んでいる。

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。

② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。

委員からの意見：

○ボランティアの希望者を増やして、ボランティアを活用する取り組みが必要ではないか。

施設の対応等：

○ボランティアは、委員の指摘どおり多くはありません。大人との関わりがうまくできない子どもも多いため、子どもへのボランティアについては、積極的でない面もあります。ただし、地域からの声かけによる行事については、継続的に参加しております。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

② 27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。

委員からの意見：

○施設における地域ニーズの掘り起こしについて取り組んではどうか。

施設の対応等：

○行政からの依頼に基づく会議に参画し地域ニーズの掘り起こしを行っているが、地域ニーズへの参画には至っていないのが現状です。施設としては、引き続き会議等へ参画し積極的な発言を行うことと情報収集に努めたいと思います。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

② 29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。

委員からの意見：

○不安全な環境について迅速に対処すべきではないか。

施設の対応等：

○施設整備については、県と法人と連携して取り組みます。  
○子どもの特性や障害などを踏まえできるだけ限り少人数での居室編成に努めております。  
○本年度も居室のクロスの張り替えや照明のLED化をはかりました。次年度は居室の机を整備を進める予定です。

### Ⅲ 適切な養育・支援の実施

#### 1 子ども本位の養育・支援

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

② 35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。

委員からの意見：

○意見の言える環境は大切であるので心の声を受け止めて欲しい。

施設の対応等：

○子どもは、担当職員と「三つの家」行き希望や悩みや困っていることを話し合う機会を設けています。

○第三者の方にも毎月1回来園いただき、相談できる体制をはかっています。

○心理士による面談も定期的に設けて子どもの声をキャッチする取り組みを行っております。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

委員からの意見：

○ヒヤリハットを繰り返さないための対応が大切である。

施設の対応等：

○問題が大きくなる前に、その都度ミニカンファレンスを実施し予防に努めております。(カンファレンスは、子どもの支援に困っていることと対応の共有をはかり支援の統一を図ることと職員間の意見や考え方の整理に役立っております)

# 検証評価調書【白鳩学園】

## 内容評価基準（9項目） A－2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	
④	A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。
委員からの意見： 児童の年齢層が幅広いので、小・中学校での行事に参加できると良い。	
施設の対応等：	
(2) 食生活	
①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。
委員からの意見： 中高生の食事の際に職員が声掛けをする取り組みは良い。 学園内での料理教室などが難しい時は外（小・中学校）での催しを利用すると良い。	
施設の対応等：	
(3) 衣生活	
①	A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。
委員からの意見： 児童にTPOや季節に合わせた服を着せている点は良い。	
施設の対応等：	
(4) 住生活	
①	A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。
委員からの意見： 壁紙をきれいにしたり少しずつ改善がみられる。	
施設の対応等：	
(5) 健康と安全	
②	A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。
委員からの意見： 小児科医と連携して適切な対応が出来るようになっている。	
施設の対応等：	

(8) 心理的ケア

① A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。

委員からの意見：  
異常が見受けられた場合は精神保健福祉士を交えて適切に対応している。

施設の対応等：

(9) 学習・進学支援、進路支援等

① A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。

委員からの意見：  
施設の老朽化は否めないが、居住空間を有効活用されている。

施設の対応等：

② A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。

委員からの意見：  
最善を尽くして対応されている。

施設の対応等：

③ A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。

委員からの意見：  
児童の希望がある場合は適切な職場体験ができるよう努力されており問題はない。

施設の対応等：